

# 常任委員会 報告

## 第4回総務文教常任委員会

平成24年8月31日

### ◎調査事項

(1)生涯学習センター床改修に伴う臨時休館について

平成23年4月供用開始後、床材の反り返り、剥離などの不具合が発生した。

平成23年12月、平成24年4月と2回にわたり部分的な貼り換えを行ったが、床材メーカーより床材の不具合について報告があり、全面的に貼り換えを行うこと



生涯学習センター施工状況

となった。

貼り換え工事については、床材メーカーにて行うこととしている。

工事の施工期間は平成24年9月15日から27日までとする。

問 施工業者に責任はないのか。

答 2年以内の瑕疵の範囲で、補修、手直しの形となり、ペナルティはない。

問 サークル等の対応はどう考えているのか。

答 事前に連絡してある。また、児童クラブにも影響しない日程を組んだ。



生涯学習センター床施工完了

## 第5回産業厚生常任委員会

平成24年7月31日

### ◎調査事項

(1)新規就農対策について

町としては、農業後継者が不足するなどの理由により新規就農者の受入が必要との意見・要望があることから、新規就農者の支援に関する条例の制定を検討することとした。

その概念を作成し、7月2日に農協との意見交換を行った。出された課題については、農協職員・町職員などで構成する作業チームを設け、検討していく。

問 就農研修の認定について、条例で定めるのか。

答 この条例は、あくまでも営農開始時に補助金等を出すものであり、研修の認定については、条例の前段として議論を進めたいと考えている。

問 農業にも色々あるが、この条例の範囲は。

答 酪農業に限定したいと考えている。

問 今は酪農に主体を置いていると理解するが、農業も時代と共に移り変わって

いく。幅広く適用する考えはないか。

答 経営形態の多様化については、提言事項として受け止める。

問 補助金の額についてはどう考えているのか。

答 天塩町や豊富町が参考になると考えている。

問 作業チームでしっかり議論をして、進めて貰いたい。

答 心配を持たれないように進めていく。

## 第6回産業厚生常任委員会

平成24年8月31日

### ◎調査事項

(1)トナカイ観光牧場について

平成23年度の経営状況や、集客に係る取り組み等について、調査をした。

入場者は4万9千7百14人。収入は、委託料1千7百6万円。エサ販売25万8千円。花販売43万2千円。トナカイ貸出し110万円。

支出は、総額で1千9百14万1千円。経常損益で20万9千円のマイナスとなっている。

集客の取り組みは、ブルーポピーを長い期間鑑賞できるように、開花調整の研究を進めている。

秋の収穫祭イベントは、悪天候のため中止となったが、冬のスノーモービルを使用したイベントを2回開催している。

PR等については、稚内利尻礼文サロベツ観光振興協議会として、道内外にPR活動を行った。

問 平成20年度に改善計画を立て、入場料無料化を図った。集客に関しては成果があったと考えるが、収入に結びついていない。更なる改善が必要と考えるがどうか。

答 エサの販売が思っていたよりも伸びていない。花の販売は、インターネットを通じて少しずつ増えているが、難しい状況である。来年度には、この厳しい状況の中でどうしていくか、結論を出さなければと考えている。

(2)ブルーポピーの開花調整について

道の補助金を活用し、